

科目名称	内部障害系理学療法学
授業コード	AD336
英語名称	Physical Therapy in Internal Disorders
学期	2024年度前期
単位	2.0
担当教員	新永 拓也, 佐野 徳雄, 山田 洋二, 新井 則善, 渡邊 亮, 角田 健
記入不要 ナンバリ ングコード	
授業の概要	解剖学・運動学・生理学などの基礎医学および内部障害系理学療法系理学療法学 の知識を基に内部障害疾患（呼吸器疾患, 循環器疾患, 代謝性疾患）に対する理学療法評価の理論と技術を修得することを目的とする。 内部障害軽理学療法における代表的な疾患（肺炎・COPD・間質性肺炎・虚血性心疾患・心不全・大血管疾患・糖尿病・慢性腎不全・人工透析など）の特性と病態を理解した上で, 疾患と病態に応じた理学療法評価や各検査測定とその解釈を学修する。また, 代表的な内部障害の症例を通して, 問題点抽出および理学療法プログラムの立案ができる力を養う。また, 非常勤講師を招き, 現場での内部障害の理学療法についても学び, 知識を深める。
科目に関連する実務経験と授業への活用	内部障害を有する患者や利用者に対して, 各種症状の緩和方法や身体機能の維持と改善を目標に理学療法士として従事していた経験を有する教員が具体的な知識と技術を指導する。
到達目標	学生は自らが内部障害者に成った状況を想像しながら, 一般検査および理学療法評価から問題点を抽出し, 具体的なプログラム立案へと思考を進める経験を得る事が出来る。 <b>【科目特有の知識・技術についての到達目標】</b> 内部障害を有する人への理解と理学療法手技を習得する。疾患毎の理学療法に関する基礎理論について, 深く学習し, 理解・説明し, 実践できるようになる。 <b>【汎用能力としての学士力についての到達目標】</b> 内部障害を有する人への具体的な対応策を学習する。疾患毎の理学療法学の基礎に触れ, 将来の社会人としての実効性を持つようになる。
計画・内容	1) 循環器・呼吸器系疾患に対する理学療法評価 : 視診・触診・打診・聴診の紹介と実技, 演習 (担当: 新永, 佐野, 山田, 理学療法士) 予習: 循環器・呼吸器系のフィジカルアセスメントについて確認する (1時間程度) 復習: 教科書の説明部分を確認すること (1時間程度)  2) 循環器・呼吸器系疾患に対する理学療法評価 : 視診・触診・打診・聴診の紹介と実技, 演習 (担当: 新永, 佐野, 山田, 理学療法士) 予習: 循環器・呼吸器系のフィジカルアセスメントについて確認する (1時間程度) 復習: 教科書の説明部分を確認すること (1時間程度)  3) 循環器系疾患に対する理学療法評価 : 運動耐容能の評価 (6分間歩行試験, シャトルウォーキングテスト)・心肺運動負荷試験の紹介と実技, 演習 (担当: 山田, 佐野, 新永, 理学療法士) 予習: 運動耐容能の評価について確認する (1時間程度) 復習: 教科書の説明部分を確認すること (1時間程度)  4) 循環器系疾患に対する理学療法評価 : 画像所見, 心電図 (12誘導含む) の評価 (担当: 山田, 佐野, 新永, 理学療法士) 予習: 画像所見の見方・心電図 (12誘導含む) の評価について確認する (1時間程度) 復習: 教科書の説

計画・内容	<p>明部分を確認すること（1時間程度）</p> <p>5) 代謝疾患に対する理学療法評価：腱反射,ABI,振動覚,足底感覚,足趾足部ROM,バランス検査など（担当：佐野, 山田, 新永, 理学療法士） 予習：代謝疾患の評価について確認する（1時間程度） 復習：教科書の説明部分を確認すること（1時間程度）</p> <p>6) 代謝疾患に対する理学療法評価：腱反射,ABI,振動覚,足底感覚,足趾足部ROM,バランス検査など（担当：佐野, 山田, 新永, 理学療法士） 予習：代謝疾患の評価について確認する（1時間程度） 復習：教科書の説明部分を確認すること（1時間程度）</p> <p>7) 循環器疾患（心不全、虚血性心疾患、弁疾患、大血管疾患）の理学療法：心不全患者の症例検討（担当：山田, 理学療法士） 予習：循環器疾患（心不全、虚血性心疾患、弁疾患、大血管疾患）の理学療法について確認する（1時間程度） 復習：教科書の説明部分を確認すること（1時間程度）</p> <p>8) 呼吸器疾患（COPD・肺炎・間質性肺炎）の理学療法：COPD患者の症例検討（担当：新永, 理学療法士） 予習：呼吸器疾患（COPD・肺炎・間質性肺炎）の理学療法について確認する（1時間程度） 復習：教科書の説明部分を確認すること（1時間程度）</p> <p>9) 代謝系疾患（糖尿病）の理学療法：糖尿病患者の症例検討（担当：佐野, 理学療法士） 予習：代謝疾患（糖尿病）の理学療法について確認する 復習：教科書の説明部分を確認すること（1時間程度）</p> <p>10) がんの理学療法：病期別（予防、回復、維持、緩和）の理学療法：がん患者の症例検討（担当：山田, 理学療法士） 予習：がんの理学療法について確認する（1時間程度） 復習：教科書の説明部分を確認すること（1時間程度）</p> <p>11) 呼吸器患者の理学療法（担当：角田, 新永, 佐野, 山田, 理学療法士） 予習：呼吸器患者の理学療法について確認する（1時間程度） 復習：教科書の説明部分を確認すること（1時間程度）</p> <p>12) 内部障害とリハビリテーション栄養について（担当：新井, 山田, 佐野, 新永, 理学療法士） 予習：内部障害とリハビリテーション栄養について確認する（1時間程度） 復習：教科書の説明部分を確認すること（1時間程度）</p> <p>13) 糖尿病の理学療法（担当：渡邊, 佐野, 山田, 新永, 理学療法士） 予習：糖尿病の理学療法について確認する（1時間程度） 復習：教科書の説明部分を確認すること（1時間程度）</p> <p>14) 呼吸器系疾患に対する理学療法：呼吸介助・体位排痰法の理学療法手技、吸引の紹介と実技,演習（担当：新永, 佐野, 山田, 理学療法士） 予習：呼吸介助・体位排痰法の理学療法手技、吸引、フィジカルアセスメント（問診、視診、打診、聴診）について確認する（1時間程度） 復習：教科書の説明部分を確認すること（1時間程度）</p> <p>15) 呼吸器系疾患に対する理学療法：呼吸介助・体位排痰法の理学療法手技、吸引の紹介と実技,演習（担当：新永, 佐野, 山田, 理学療法士） 予習：呼吸介助・体位排痰法の理学療法手技、吸引、フィジカルアセスメント（問診、視診、打診、聴診）について確認する（1時間程度） 復習：教科書の説明部分を確認すること（1時間程度）</p>
-------	--

授業の進め方	講義と実習形式で行う。映像資料や配布資料にて参考書の内容を分かりやすく説明する。 各種の機能障害に対し具体的な検査方法を指導し、講義中に随時、受講生同士での理学療法士对患者関係を設定した評価手技を実施しなくてはならない場合もある。 受講生は実習衣着用等、適宜対応が出来るように講義の進行に注意を傾けて頂きたい。
能動的な学びの実施	授業理解を深める為に必要に応じてを行う。アクティブラーニングを取り入れ実習や演習を適宜行う。
授業時間外の学修	授業中に提示された内容を授業時間外に教科書内で確認し、毎回の授業毎に復習しておくこと（毎回1時間程度）。実技練習は授業時間外に適宜実施すること。
教科書・参考書	教科書； 解良武士・他編集，Closslink 理学療法学テキスト 内部障害理学療法学，メジカルビュー，2019 参考書； 1）松尾善美，内部障害理学療法学，羊土社，2016，第1版 2）高橋仁美・他編集，動画でわかる呼吸リハビリテーション，中山書店，2016 第4版 3）吉尾雅春，他編集，標準理学療法学「内部障害理学療法学」，医学書院，2013，第1版 4）石川朗編集，内部障害理学療法学，循環・代謝，中山書店，2012 第1版 5）大島一太，これならわかる！心電図の読み方 -モニターから12誘導まで- （ナースのための基礎BOOK） 6）長尾 大志，レジデントのためのやさしい胸部画像教室 （ベストティーチャーに教わる胸部X線の読み方考え方）改訂第2版
成績評価方法と基準	授業内課題（10%）、期末試験（90%）の結果を総合的に判定して、成績評価を行う。
課題等に対するフィードバック	課題については返却して授業内で適宜、解説・フィードバックを行う。
オフィスアワー	Campus Squareを参照
留意事項	質問等は随時メールにて対応可能である。 学籍番号と氏名を明記してE-mailで 担当教員宛に発信する事。 授業では、受講生自身の積極的な参加や働きかけを期待する。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	授業の進め方 ・zoomによるオンライン授業と課題学修を組み合わせる。 ・必要に応じて授業動画配信によるオンデマンド授業とする。  成績評価方法 ・授業中課題50%と期末レポート50%で評価する。